

# 委員会活動報告

## I. 選挙管理委員会

委員長 下元 昭二

1. 委員会活動 2回
2. 活動内容
  - 1) 役員、推薦委員、代議員の選任に関する行程表によりスケジュールを確認
  - 2) 選挙の公示及び立候補の受付について公示
  - 3) 役員の辞任に伴う役員の立候補について追加公示
  - 4) 推薦委員会から候補者名簿を受け取り、推薦書・承諾書・略歴の確認

## II. 推薦委員会

委員長 林 珠美

1. 委員会開催 3回
2. 活動内容
  - 1) 役員、推薦委員、代議員の選任に関する行程表によりスケジュールを確認
  - 2) 選挙の公示及び推薦の受付について公示
  - 3) 役員の辞任に伴い推薦について追加公示
  - 4) 推薦書類を確認し名簿を作成し、選挙管理委員会に提出
    - (1) 令和2年度香川県看護協会の改選役員・委員の推薦
      - ①役員 11名
        - ・理事 9名
        - ・監事 2名
      - ②推薦委員 3名
    - (2) 令和2年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦
      - ①代議員 7名
        - ・保健師 1名
        - ・助産師 1名
        - ・看護師、准看護師 5名（看護師4名、准看護師1名）
      - ②予備代議員 8名
        - ・保健師 2名
        - ・助産師 2名
        - ・看護師、准看護師 4名（看護師3名、准看護師1名）

## III. 教育委員会

委員長 田所美代子

1. 委員会開催 9回
2. 活動計画
  - 1) 研修運営
  - 2) 年間教育計画の評価
  - 3) 次年度教育計画立案
3. 活動内容
  - 1) 令和元年度看護研修会の運営
  - 2) 研修会後のアンケート集計結果から研修企画・運営の評価
  - 3) 令和2年度の研修計画案の作成
    - (1) 各施設へのアンケート結果から会員の研修内容への要望を把握
    - (2) 研修の振り返り結果から内容の検討
    - (3) JNA ラダーに対応した研修プログラムの作成
    - (4) 研修プログラム「看護倫理」のJNA ラダーレベルII・III・IVの教育計画立案
    - (5) 各施設で「看護研究」の取り組みや継続した支援ができる研修プログラムの設定
  - 4) 教育委員養成研修「継続教育の運営教育活動に関する研修」の受講
  - 5) 第36回香川県看護学会の運営協力

- 6) 研修アンケート用紙の検討
- 7) 教育委員会活動計画の見直し
4. 今後の課題
  - 1) 全研修分類で JNA ラダーのレベルにそった内容の企画検討
  - 2) 会員ニーズに対応した研修企画の検討
  - 3) 教育委員一人ひとりが、担当する研修の企画書作成・運営・評価にかかわれる体制づくり
  - 4) 「看護研究」を各施設で指導できる人材育成のための研修企画

#### IV. 認定看護管理者教育課程教育運営委員会

委員長 鳥山 宏美

1. 委員会開催 4回
2. 活動計画
  - 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査
  - 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了審査
  - 3) 認定看護管理者教育計画の企画
    - (1) 令和2年度開講認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育計画企画
    - (2) 令和2年度開講認定看護管理者教育課程サードレベル教育計画企画
  - 4) 令和2年度認定看護師管理者教育課程サードレベル事前課題審査
3. 活動内容
  - 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査（修了者 53 名）  
今年度より新たに統合演習が教科科目に追加された。学習内容を踏まえ、受講者が所属する部署の分析を行い取り組むべき課題を明確にし、対応策を立案できることを目的とした。運営委員会委員が発表会を含め4回演習支援を実施
  - 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了審査（修了者 35 名）  
今年度より統合演習において、地域連携を理解するため他施設への実習を行い、見学実習後グループワークと発表を実施
  - 3) 令和2年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修企画
    - (1) 募集要項について
      - ①認定看護管理教育課程運営の注意事項を踏まえ、より多くの方が受講できるよう、選考要件から小論文を省いて受講動機の提出に変更
      - ②小論文を省くため、事前課題として自己の考えを整理できる方法を検討
    - (2) 研修日程について  
質管理の教科項目を研修の早い時期に組み入れ、理解を促すよう計画
  - 4) 令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修企画
    - (1) 統合演習の評価について  
実習の評価を含めて考えていくか、日本看護協会の演習内容で示されているような様々な課題に対応すべきかなどを検討
  - 5) 令和2年度サードレベル事前課題レポート審査
4. 成果・課題
  - 1) 成果
    - (1) ファーストレベル研修では、統合演習を実施し、受講生が組織分析や課題の明確化、対応策の検討について理解を深める支援ができた。
    - (2) セカンドレベル研修では、統合演習で施設見学を実施することで、地域との連携を踏まえた看護管理について理解を深める支援ができた。
    - (3) カリキュラムに即した令和2年度の教育計画を企画できた。
  - 2) 課題
    - (1) 令和元年度に引き続き、ファーストレベル研修の総合演習において、組織を俯瞰してみる視点を身につけるための支援
    - (2) 令和元年度セカンドレベルフォローアップ研修の企画運営と開催
    - (3) 令和2年度サードレベル研修の統合演習における支援の強化と評価の検討

V. 安全管理ネットワーク委員会

委員長 藤田 文恵

1. 委員会開催 6回

研修会開催 11回（医療安全管理者養成研修9回、交流会2回）

2. 活動計画

- 1) 医療安全管理者ネットワークの拡大
- 2) 医療安全管理者養成研修の企画・運営

3. 活動内容

1) 医療安全管理者養成研修

目的：医療安全の質向上と安全の確保を目的とし医療安全管理業務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得し、組織における医療安全を推進する。

目標：①医療安全対策の動向や関連法規・制度を学び、医療機関等における医療安全管理者としての役割と責務を理解する。

②医療安全管理者としての専門的・基本的知識と技術を習得する。

③医療安全管理者の業務を理解し、組織の医療安全管理体制を機能させるための方法がわかる。

開催日時：8月4日（日）～11月10日（日）の9日間（42時間）

受講者：32名（看護師31名、薬剤師1名）修了者27名

2) 医療安全管理者フォローアップ研修・交流集会

目的：（第1回）院内の安全管理対策、医療安全の質向上に生かすため、2018年度に新設された医療安全対策地域連携加算による、相互評価実施の現状に対して助言をいただき、今後の課題を共有する。

（第2回）病院・在宅福祉施設等あらゆる場において、安全・安心な医療・看護が切れ目なく提供されるためには、様々な看護情報や医療情報がどのように連携されればよいのか、医療安全の質を担保するための連携の在り方について意見交換の場とする。また、地域包括ケアにおける病院、在宅、施設における医療安全活動の実際について理解を深める機会とする。

内容：

| 日時                                | 発表者   |
|-----------------------------------|---|
| 10/6（日）<br>8:50～<br>12:00         | 8:45～9:00 誤接続防止コネクタについて（ニプロ株式会社）<br>9:00～10:00 講演<br>医療安全対策地域連携加算における評価と改善への視点<br>講師 九州大学病院 医療安全管理部 教授 後 信<br>10:40～12:00 3施設からの相互評価実施結果と今後の課題          |
|                                   | 講師からの助言   |
| 令和2年<br>1/18（土）<br>9:00～<br>12:00 | 三豊総合病院（退院調整看護師の立場から） 加地 香織<br>えむ薬局（在宅支援薬局の立場から） 森 久美子<br>訪問看護ステーションたきのみや（訪問看護ステーションの立場から） 尾崎 美智<br>居宅介護支援事業所こくぶ（居宅支援の立場から） 白崎千栄美<br>みき山荘（施設の立場から） 清原実佳子 |
|                                   | 意見交換会   |

4. まとめ・課題

1) 医療安全管理者養成研修は、今年度も香川県独自のプログラムを企画した。厚生労働省医療安全対策検討会議より示された「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に沿った内容とした。

受講者の背景は、50%が院内の医療安全に関する役割を担っている者であった。研修内容については、70%が理解できたと答えており、72%の参加者が研修に満足していた。事例分析のグループワークでは全員が実践に応用できる内容との評価であった。

- 2) 医療安全管理者フォローアップ研修・交流会の第1回では、平成30年度の診療報酬改定で「医療安全対策地域連携加算」が新設され、施設間の医療安全対策に係る相互評価が実施されるようになったことを受け、九州大学病院医療安全管理部 教授 後信 先生にご講演いただき、相互評価の講演と活動実践報告に対して助言をいただいた。  
 今後は、相互評価が県内の施設間の連携を深め、医療安全の質向上に繋がることが目標である。
- 3) 医療安全管理者フォローアップ研修・交流会の第2回では、病院、在宅、福祉施設などあらゆる場において、医療安全の観点からのシームレスな連携の実現を目指して、病院・訪問看護師・施設・薬剤師・ケアマネージャーの立場から現状を報告していただき意見交換会を実施した。それぞれの役割と現状を理解することで、より安心・安全な医療・看護の提供が可能になる。前年度からの課題である、医療、看護、介護の連携の質を高めるために、連携間で生じるインシデントを共有する仕組み作りが必要である。
- 4) 我が国では、製品分野間の相互接続を防止するコネクタの国際規格の制定が進められている。新規規格品と既存規格品の混在による医療事故防止の観点から今年度は「経腸栄養関連製品のコネクタ導入」の講義を企画した。今後、様々なコネクタの導入が進んでいくが、医療事故が起らないよう更に情報発信をしていくことが重要である。

## VI. 災害看護対策委員会

委員長 山道 昌代

### 1. 委員会開催 6回

### 2. 活動計画

- 1) 災害支援ナースフォローアップ研修の企画・運営
- 2) 災害支援ナース育成研修の企画・運営
- 3) 災害支援ナース募集にむけた広報
- 4) 災害支援ナースハンドブックの作成
- 5) 香川県看護協会の災害時携行品・備蓄品の点検

### 3. 活動内容

#### 1) 災害支援育成研修の企画・運営

日 時：8月7日（水） 9:00～12:30

場 所：香川県看護協会 看護研修センター

内 容：(1) 災害支援ナース派遣の概要について  
 (2) 災害支援ナースの実際の活動について

講 師：(1) 香川県看護協会 三村専務理事

(2) 災害対策委員：中妻征子・平山朋美、演習助言者：亀山しおり

受講人数：31名

#### 2) 災害支援ナースフォローアップ研修

日 時：9月6日（金） 13:30～16:30

場 所：香川県看護協会 看護研修センター

内 容：災害現場における DO NO HARM

講 師：福島県立医科大学付属病院 ふたば救急医療センター 島田二郎 先生

受講人数：56名

#### 3) 令和元年度第2回中讃圏域健康危機管理連絡会

日 時：令和2年1月23日（木） 14:00～16:00

場 所：中讃保健福祉事務所

内 容：(1) 令和元年度における健康危機管理に関する取組結果について  
 (2) 避難行動支援者対策の現状について  
 (3) 中讃地域災害医療対策会議医療救護訓練の実施結果について  
 (4) 香川県における災害支援チームの概要について

講 師：災害支援ナース・DMAT・DWAT・JRAT・JDA-DAT

#### 4) 災害支援ナースハンドブックの作成

#### 5) 香川県看護協会の災害時携行品・備蓄品の点検、補充、リスト作成

#### 4. まとめ・課題

- 1) 災害支援ナース登録者の更新・新規登録者の確保
  - (1) 災害支援ナースの要望に沿ったフォローアップ研修の企画
  - (2) 災害支援ナース育成研修の企画
  - (3) 災害支援ナース研修（基礎編・実務編）の受講者確保の検討
- 2) 災害時備蓄品と災害支援ナース携帯用品の在庫確認と整理

### VII. 学会委員

委員長 松村 千鶴

#### 1. 委員会開催 13回

#### 2. 活動計画

第36回香川県看護学会の企画・運営

#### 3. 活動内容

##### 1) 第36回香川県看護学会の開催

日 時：令和2年1月26日（日）8：45～15：00

場 所：香川県看護協会 看護研修センター

目 的：看護教育及び学会等学術振興に関する事業として、学会の開催および学会誌を発行する

テ マ：未来を拓き、暮らしを支え続ける看護の力 一生(活)きる力を支援する一

発表演題数：24題（口演発表10題、示説発表14題）

基 調 講 演：「その人らしい生活を送るための地域連携」

講 師：NPO法人NEXTEP 理事長 島津智之

特 別 講 演：「医療的ケアがあっても安心して暮らしたい」

講 師：国立成育医療研究センターもみじの家 ハウスマネージャー 内多勝康

参 加 者：471名

##### 2) 香川県看護学会誌（第11巻）の発行予定（論文募集・査読・編集など）

#### 4. まとめ・課題

- 1) 第35回の企画・運営は好評であり、参加者数は過去10年で最も多かった。新企画として企業展示コーナを設け協賛企業8社から参加があり賑わった。  
今後さらなる演題数の増加
- 2) 看護研究や論文の質的向上と支援体制

### VIII. 社会経済福祉委員会

委員長 天野 圭子

#### 1. 委員会開催 11回

フォーラム参加 1回

#### 2. 活動計画

会員施設における「年次有給休暇の確実な取得に対する実態調査」の実施

#### 3. 活動内容

この度、厚生労働省から示された「働き方改革」により、労働基準法が改正され、2019年4月から全ての企業において、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられた。そこで、香川県看護協会会員がいる入院施設を有する60施設の看護代表者および勤務表作成者に、年次有給休暇の取得状況について（5項目）、残業時間の状況把握について（4項目）調査を行い、今後の働き方改革への推進等への情報発信につなげていきたいと考えた。

#### 4. まとめ・課題

34施設より回答を得て、有効回答率は56.7%であった。平成30年度の有給休暇の平均取得日数は、中間管理職9.1日、スタッフ10.8日であった。施行から6か月経た年次有給休暇取得については、4月開始の施設が平均、中間管理職6.5日、スタッフ6.6日、最少はどちらも2.5日であった。1月開始の施設は平均、中間管理職4.6日、スタッフ5.2日、最少は中間管理職1日、スタッフ3.0日であった。

残業時間については、平成30年度平均残業時間は6.4時間であった。2019年4月から9月ま

での残業時間が平均 45 時間を超えている施設が 7 施設、21%であった。(看護代表者回答)  
年次有給休暇の取得については、労働時間法制見直しの周知、本人からの希望を踏まえ、使用者が取得時季を指定するなどしている。年間計画を立て、年次有給休暇が取りやすい環境を作っていた。

残業時間削減については、業務調整・業務改革、他部門との調整、リリーフ体制の導入などが取り組められていた。

これらの結果より、年次有給休暇取得に向けては、義務化により、達成できるよう対策が取られている。

しかし、残業時間については、長時間の勤務をしている施設もあり、今後も対策が必要と考える。

## IX. ナースバンク委員会

委員長 三好 和美

### 1. 委員会開催 11 回

### 2. 活動計画

- 1) ナースセンターニュースの編集と発行
- 2) 看護職員確保状況調査の結果の分析と考察
- 3) 離職防止対策、潜在看護職者就業支援

### 3. 活動内容

#### 1) 香川県ナースセンターニュースの編集と発行

(1) 発行回数 2 回/年 (4 月、10 月)

(2) 発行状況・主な内容

①第 62 号 4 月 20 日 2,600 部発行

- ・看護力再開発講習会 (看護基礎技術コース・基本コース) 開催案内
- ・平成 30 年度 Café キャリアレインボー開催報告
- ・令和元年度 Café キャリアレインボー開催案内
- ・就職フェア開催報告
- ・就業支援コーディネーター紹介
- ・看護師等の届出サイト「とどけるん」の紹介及び届出状況
- ・香川県ナースセンターの利用案内及び利用状況

②第 63 号 10 月 20 日 2,600 部発行

- ・看護力再開発講習会 (看護基礎技術コース・1 回目基本コース) 開催報告
- ・看護力再開発講習会 (2 回目基本コース) 開催案内
- ・看護職確保定着のための取り組み、施設訪問報告  
(高松市立みんなの病院・三豊総合病院)
- ・令和元年度看護職員確保状況調査結果報告とまとめ
- ・令和元年度 Café キャリアレインボー開催報告
- ・看護師等の届出サイト「とどけるん」の紹介及び届出状況
- ・香川県ナースセンターの利用案内及び利用状況

#### 2) 看護職員確保状況調査の結果の分析と考察

#### 3) 離職防止対策、潜在看護職者就業支援

(1) 看護職就労支援交流会 (Café キャリアレインボー) の開催

(2) 看護師確保定着のための取り組み取材

施設訪問：高松市立みんなの病院・三豊総合病院

### 4. まとめ・課題

年 2 回発行される香川ナースセンターニュースの編集において、情報ソースが多様化している中、いかに目に留まりやすく、興味をもってもらえるかという事に注意した。これからも求職者に必要とされる情報の発信を継続していくことが課題である。

12 月に求職者や悩みを抱えている就労者を対象とした、看護職就労支援交流会 (Café キャリアレインボー) をナースバンク委員が中心となり開催した。参加者が抱える社会的背景は様々であり、不安や期待が入り混じっていることを強く感じた。就業している看護職として病院勤務の現状を伝え、参加者が欲している情報が何かという率直な意見を聞くことができ、双方の情報を

共有する良い機会となった。次年度も交流会を継続して開催し、復職支援の一端を担っていききたい。

## X. 「健やか香川 21」事業推進委員会

委員長 田原 直美

### 1. 委員会開催 6回

### 2. 活動計画

#### 1) 「まちの保健室」の開催

- ・定例開催（さぬきこどもの国） 6回
- ・随時開催（要請を受けたイベント等） 6回程度

#### 2) 「まちの保健室」従事者研修会の開催

#### 3) 定例開催の「まちの保健室」参加者問診票のデータ分析

### 3. 活動内容

#### 1) 生活習慣病に関する活動：「まちの保健室」の開催

看護職として、子供から高齢者まであらゆる年齢層、あらゆる健康レベルの人々を対象に広く県民の健康の保持増進に寄与し、健康日本 21 の実現に資するため、身近で気軽に健康相談ができ、健康づくりに関する情報提供ができる場として開催した。

前年度から問診票のデータを集計し、対象の傾向を把握するとともに、今後の指導に生かせるよう検討している。

#### 2) 「まちの保健室」の結果と分析

- ・参加者数は増加傾向にあり、地域住民の健康づくりに対する意識が高まった結果と考える。
- ・今後も子育て世代に対する禁煙指導や食生活・運動習慣に関する啓発活動を進めていくことが必要である。（事業報告資料を参照）

#### (1) 内容

- ①健康相談…身体計測・体脂肪測定・血圧測定・血管推定年齢測定・骨密度測定・健康相談
- ②子育て相談（さぬきこどもの国）…身長・体重測定・個別相談
- ③禁煙相談…肺年齢測定・呼気中のCO濃度測定・個別相談

#### (2) 従事者人数 10名[委員4～6名、サポーター4～6名、事務局]

#### (3) 実施日及び場所

- ①定例開催 奇数月 第3土曜日 12:15～16:00 さぬきこどもの国
- ②随時開催 各イベント内で実施
  - ・サマーフェスタ兵庫町（8月3日）
  - ・国分寺ボランティア（8月25日）
  - ・津田高等学校（禁煙支援）（9月7日）
  - ・子育てフェスティバル（10月6日）
  - ・第29回県民スポーツ・レクリエーション祭（11月17日）

#### (4) 参加者状況

|           | 定例   |      | 随時   |      | 総計  |      |
|-----------|------|------|------|------|-----|------|
|           | 開催回数 | 参加者数 | 開催回数 | 参加者数 | 回数  | 参加者数 |
| ① 生活習慣病予防 | 5回   | 165名 | 5回   | 291名 | 10回 | 456名 |
| ② 禁煙支援    | 5回   | 10名  | 3回   | 12名  | 8回  | 22名  |
| ③ 子育て支援   | 5回   | 212名 | 1回   | 166名 | 6回  | 378名 |

#### (5) まちの保健室従事者研修会

「まちの保健室」における生活習慣病予防及び禁煙支援の充実を図るために、健やか香川 21 委員及び新規サポーター登録者の現任研修として開催した。

日 時：8月10日（土）10:30～11:45

場 所：香川県看護協会 看護研修センター

参加人数：19名

### 4. まとめ・課題

「まちの保健室」の参加人数は昨年とほぼ同様であった。「さぬきこどもの国」では、子育て世

代の年代が多かった。将来、生活習慣病になるリスクを減らすには、生活習慣を改善し、健康増進させる「一次予防」が重要と考えられる。今後も子育て世代を中心に健康相談ができる環境を整え、自らまた、家族ぐるみで健康作りに取り組むきっかけになるよう活動していきたい。

## XI. 健全母性育成事業推進委員会

委員長 松本 美称

### 1. 委員会開催 6回

### 2. 活動内容

#### 1) いのちのせんせいに関すること

##### (1) 実施状況

| 区分    | 学校数 | 生徒     | 保護者等 | 教員   | 計      |
|-------|-----|--------|------|------|--------|
| 小・中学校 | 80校 | 7,475名 | 426名 | 568名 | 8,469名 |

##### (2) 担当者等研修会

日時：8月31日（土） 9:30～11:30

参加者：担当者13名 委員5名 計18名

内容：実施状況報告、香川県教育委員会としての取り組み報告、模擬授業及び情報交換

#### 3) 思春期ピアカウンセリング事業に関すること

##### (1) 思春期ピアカウンセリング活動実践

###### ①文化祭ピア広場（いのちの広場）

場所：香川県立津田高等学校

月日：9月7日（土） 9:00～15:00

内容：相談及び妊婦体験

いのちの広場アンケート実施

従事者：委員4名

参加者：生徒及び保護者 約150名

### 3. まとめ

今回、35周年のあゆみを発刊することとなった。まとめにあたり、私たちの知らなかった以前の年度も含めて振り返ると諸先輩方が、この事業に従事し、ご尽力され築いてこられた歴史をあらためて感じている。開始当初は、性に関する情報も乏しく正確な情報を得ることも難しい時代であったが、現在では、インターネットやSNS等での情報入手や他の専門的な相談が増えている。また、思春期が抱える問題も性の問題だけではなく、多岐に渡り、専門的な機関やメール相談も可能となった。これらの状況を踏まえ、本委員会で検討を重ねた結果、対面的な活動である「いのちのせんせい」をさらに充実させるなど事業を整理し、委員会としては終了することとなった。この事業は、当初のねらいである、子どもたちの健やかな成長をはぐくむ母子保健の推進という大きな役割を果たすことができたと考えている。

## XII. 訪問看護推進委員会

委員長 新池 巳恵

### 1. 委員会開催 6回

### 2. 活動計画

#### 1) 訪問看護クリニカルラダーの再検討

#### 2) 評価表の作成

#### 3) 次年度のからのクリニカルラダーと連動した訪問看護推進研修の検討

### 3. 活動内容

#### 1) 再検討の内容

- ・実践例の内容を評価表と連動する
- ・訪問看護OJTガイドブックの評価項目を実践例に置き換える
- ・特に重要な【協働する力】【意思決定を支える力】の実践例を見直す

#### 2) 評価表作成のポイント

- ・小規模ステーションで評価することが多いことに焦点をあて、評価しやすく、負担感の少な



いものにする

- ・あくまでも実践能力を向上することを目指す

3) 4つの力に対応した講義を検討した。令和2年度は全ラダーレベル対象とし、訪問看護推進研修で案内する予定

- ・ニーズをとらえる力：「療養者、家族のエンパワーメント」～ニーズを掘り起こすケア～（8月）

- ・ケアする力：「訪問看護師がおこなう症状マネジメント空」～がん、非がん疾患～（9月）

- ・協働する力：「シンポジウム・交流会」困難事例の退院支援とその後の生活～病院から在宅へ～（10月）

- ・意思決定を支える力：「訪問看護における意思決定支援」（11月）

4. まとめ・課題

- 1) 次年度は、訪問看護クリニカルラダーの普及を目指し、訪問看護連絡協議会を通じて周知し各ステーションが利用できるようにする。その後、ラダー別実践例の評価を行う
- 2) 受講対象者を訪問看護に関心のある看護職とし、間口を広げる必要性がある。さらにラダー別の講義の再検討や学習支援方法を検討していく

### XIII. 広報出版委員会

委員長 山下 薫

1. 委員会開催 7回

2. 活動計画

- ・「かがわ看護だより」年4回の発行
- ・香川県看護協会事業の取材・広報活動

3. 活動内容

1) 「かがわ看護だより」編集と発行

- ・105号：4月20日発行（委員会開催3回）
- ・106号：8月10日発行（委員会開催3回）
- ・107号：10月20日発行（委員会開催3回）
- ・108号：令和2年1月1日発行（委員会開催3回）

\*1回の発行に2～3回の委員会を開催

2) 各種行事の取材

- ・2019年「看護の日・看護週間」記念講演 5月12日
- ・2019年度香川県看護協会定時総会 6月16日
- ・2019年度職能合同集会 6月16日
- ・第36回香川県看護学会 令和2年1月26日

4. まとめ・課題

会員の皆様に協会主催行事の様子や最新の情報を提供するとともに、各職能委員会や各支部の活動状況を報告している。108号からは、へき地診療所シリーズの連載を開始し、島しょ部や山間部で看護を提供している方の思いや活動内容を紹介している。表紙には、会員から提供していただいた県内の風景写真の掲載を続けており、今後も、多くの皆様に興味を持っていただける広報誌となるよう活動していきたい。

### XIV. 第51回日本看護学会-ヘルスプロモーション-学術集会準備委員会

委員長 高嶋 伸子

1. 委員会開催 8回

2. 活動計画

令和2年9月29日(木)～30日(金)サンポートホール高松にて「第51回日本看護学会-ヘルスプロモーション-学術集会」を開催するにあたり、学術集會会長および日本看護協会学会担当者と報告、相談、協議を重ねながら学術集會を企画した。

- ・5月～8月：メインテーマとプログラムの企画立案と決定

- ・8月～11月：精神看護学会（福井県）ヘルスプロモーション学会（長野県）慢性期看護学会（鹿児島県）の視察を行う。

- ・10月～12月：抄録選考委員会委員の選定とプログラムに沿った会場使用計画の作成。  
会場視察。
- ・令和2年2月：抄録選考委員会開催
- ・令和2年4月～：抄録選考開始

### 3. 活動内容

- 1) 学会準備委員長の決定。
- 2) 学会当日までの企画運営の手順の概要を把握した。
- 3) 日本看護協会の重点課題と、3つの領域の過去の日本看護学会学術集会の企画内容（メインテーマ、講演、シンポジウム、交流集会、ランチョンセミナー）を確認し、その動向を把握した。
- 4) メインテーマとテーマに沿った企画を起案するにあたり、看護現場の現状を照らし合わせながら、実践上の問題や課題について意見交換した。

### 4. まとめと課題

- ・今回の学術集会は、分科会として開催でもありヘルスプロモーション、慢性期看護、精神看護の3つの領域それぞれが互いに高め合える機会情報交換の場となるように取り組んでいきたい。
- ・令和2年9月の学術集会の盛会に向けて、関係者方々のご協力を得ながら進めていきたい。また、この学術集会が看護協会会員や非会員の皆さまの貴重な相互研鑽の機会となるように企画・運営に取り組んでいきたい。

## XV. 看護職員の認知症対応力向上推進委員会

委員長 藤井 智子

### 1. 委員会開催 7回

### 2. 活動計画

- 1) 令和元年度インターネット配信研修「オンデマンド」研修支援
- 2) 令和元年度看護職員認知症対応力向上研修企画運営及び研修後の課題取り組み支援
- 3) 平成31年度看護職員認知症対応力向上研修参加者フォローアップ研修運営及び支援

### 3. 活動内容

- 1) 令和元年度インターネット配信研修「オンデマンド」のグループワーク・個人演習の支援及び質問等の対応
  - 第1回：9月26日（木）・27日（金）9：00～16：30 106名
  - 第2回：11月26日（火）・27日（水）9：00～16：30 84名
- 2) 令和元年度看護職員認知症対応力向上研修の研修企画・運営及び、グループワークや個人演習の支援・相談対応  
委員が所属する部署における認知症ケア向上の取り組み内容についての発表  
11月18日・12月9日・16日（月）9：00～17：00 23名
- 3) 平成31年度看護職員認知症対応力向上研修プレフォローアップ・フォローアップ研修の企画・運営及び、グループワークや個人演習の支援・相談対応  
プレフォローアップ：8月17日（土）9：00～12：00 23名  
フォローアップ：令和2年2月8日（土）9：00～12：00 27名
- 4) 令和元年度看護職員認知症対応力向上研修、平成31年度看護職員認知症対応力向上研修フォローアップ研修後の課題取り組みの支援について
- 5) 次年度に向けた認知症対応力向上推進委員会としての取り組み検討
- 6) 認定看護師としての活動状況や課題などの情報共有

### 4. まとめ・課題

委員会が本年度から発足され、委員会の活動としては、研修会の企画運営を中心に行った。次年度は、今後急速に高齢化が進む中で、委員会として「香川県の認知症ケアの向上」という役割をどのように担っていくかを課題とし、取り組みをしていきたい。

- 1) 研修会の支援を通して、香川県の医療機関等における認知症ケアの向上に向けた取り組みを実施する。
- 2) 認知症ケア加算対象研修受講者が、所属する部署で役割を發揮できるような取り組みを検討し、認知症看護認定看護師が有効な支援を行える体制づくりを行う。